

学位論文審査の概要

博士の専攻分野の名称 博士（医 学） 氏 名 艾力江 卡德尔
Ailijiang Kadeer

主査 教授 野口昌幸
審査担当者 副査 教授 佐邊 壽孝
副査 教授 田中伸哉
副査 教授 松野吉宏

学 位 論 文 題 名

Plectin is a novel regulator for apical extrusion of RasV12-transformed cells
(プレクチンはRas変異細胞の頂端側への逸脱に関わる新規制御因子である)

佐邊 壽孝教授よりRASの種類によるEDACの違いはあるのか？（検討していない）転移はごく早期に起きることもあるが、どう考えるか？（検討していなかったので今後検討課題である）epical extrusionの実験を始めたきっかけとしてとらえられた最初の現象は何か？（教室で行った実験データに基づいたもの）Fig4のMDCKの有無によるタンパク量の変化は理由の説明が必要に関しては修正が必要と判断した。田中伸哉教授より一番初めのEDACを引き起こすシグナルは何であるか？ EDACの過程でPlectinやEplinなどの発現は減少するのか？（経過での変化は今後の検討課題である） Plectinは細胞の端の方にあるがclaudinなど他の分子で関係しているものはあるのか？（いくつか教室で同定した分子がある）Plectinの発現の転写を制御しているものは何であるのか？（実験的には行っていないので今後の課題である）松野吉宏教授よりplectinと他の同定した因子は直接結合しているのか？（実験で結合している）Plectinとともに同定してEplinやその他の因子はtyrosineリン酸化されるのか（可能性のある分子が見つかった）。この実験で提示したEDACがモデルとされる人の癌はあるのか？（正確には分からず、検討課題である）野口から、初めにanti-tyrosineでIPをしたrationaleは何であるか？[チロシンリン酸化はさまざまな細胞反応やがんの原因とshて重要である]スクリーニングに使ったanti-tyrosineでIPをしたゲルをanti-tyrosine でblotしか？（今後の検討課題である）実験系にMDCKを使った理由は何であるか？（教室で細胞株を作っていた）実験のモデルを3D培養をした時にはEDACは起きるのか？ Acetyl化やリン酸化などの修飾の時間的な経緯と刺激依存性などは？ 先行研究でSrcによる実験系で同定したFilaminやvimentinなどとの関係はどうであるか？ EDACの過程でのtyrosinでの免染はどんな感じに染まるのかなどの質問があった。（今後の検討課題である）全体に研究の内容も発表も含めてレベルの高いもので理解しやすい発表であり、質疑に対しても適切に対応した。結果、一部修正は必要であるが副査、主査ともに学位を授与するに十分な資格があると判定した。